

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 1 枚目

実施年月日	第 30 期 第 4 回 運営審議会			平成 31 年 2 月 20 日実施
会 場	中央公民館 交流ホール 1		傍聴人	0 人
出席者	委員		井上経久、井部真由美、岩崎保之、笠原直美、 小林淳一、塩田美幸、田代正孝、西脇玉子 祝健一郎、本間修一、山田久美子、渡辺和美	
	事務局	中央公民館	浅間直美、竹田由里子、土沼裕子、友坂直宏、 玉木一彦	
		鳥屋野地区公民館	小栗 敦	
		東地区公民館	野崎 敦	
	関屋地区公民館	小松氏盛		
議題等	<p>議題・報告</p> <p>(1) 平成 31 年度予算の編成状況について</p> <p>(2) 平成 30 年度公民館事業実施状況（中間報告）について</p> <p>(3) 平成 31 年度公民館事業計画について</p> <p>(4) 公民館に若者を取り込むために（現状報告）</p> <p>(5) 2 年間を振り返って</p> <p>(6) その他</p>			
審議された議題及び報告について以下に記載する。				
浅間中央公民館長あいさつ				
岩崎議長あいさつ				
岩崎議長	<p>皆さん、おはようございます。2 年間の任期を終わらんとしております。最後の機会ですので、忌憚のないご意見を出していただきまして、よりよい公民館運営ができますように、お力をお貸しいただければと思っております。</p> <p>冒頭、少し時間をいただきたいと思います。当日配布資料 1 と当日配布資料 2 をお出してください。すでにご案内のことと思いますけれども、中央教育審議会においても公民館のあり方について議論が行われ、昨年 7 月に審議のまとめが公表されたところです。当日配布資料 1 は、その審議のまとめの概要になっています。時間がありませんので、後ほど眺めていただければと思いますけれども、1 枚めくっていただきまして 2 枚目の真ん中辺り、(3) 本分科会としての考え方の白丸を読ませていただきます。</p> <p>「・・・以上を踏まえ、社会教育の移管する事務については今後とも教育委員会が所管することを基本とすべきであるが、地方の実情等を踏まえ、より効果的と判断される場合には、地方公共団体の判断により長が公立社会教育施設を所管できる特例を設けることについて、社会教育の適切な実施の確保に関する制度的担保が行われることを条件に、可とすべきと考える。」</p> <p>要するに、今までは教育委員会が専権として所管してきたのだけれども、教</p>			

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 2 枚目

	<p>育委員会が一定程度かかわることを担保条件として、市長部局がこういった施設の運営に当たることを認める方向で議論を進めていったらどうかという審議のまとめが行われたことになるわけです。そうすると、場合によっては、例えば、公設民営方式のような形で、今後、公民館が運営されていくことも可能になるということです。</p> <p>では、実際、我々公民館が具体的にどういうことをしていったらいいのかという、今度はソフト的な話になります。それが当日配布資料 2 になります。2. 今後の社会教育施設に求められる役割。(1) 公民館ということで、一つ目の白丸を根拠として、二つ目の白丸、現状の課題の言及、そして三つ目の白丸、今後の役割の期待です。その三つ目の白丸を読みます。</p> <p>「地域コミュニティの衰退が社会全体の課題となる中、今後は、特に、住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割や、学習の成果を地域課題の解決のための実際の活動につなげていくための役割、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点としての役割、地域学校協働活動の拠点としての役割などを強化することが求められる。また、中山間地域における「小さな拠点」の中核となる施設としての役割も期待される。」</p> <p>そして、最後の白丸、結論です。</p> <p>「これまで公民館が培ってきた地域との関係を生かしながら、知己の実態に応じた、学習と活動を結び付ける機能を有する新しい地域の拠点施設を目指していくことが望まれる。」</p> <p>このようなまとめ方になっています。今回のところでも、学校の新しい学習指導要領で打ち出されている、社会に開かれた教育課程というキーワードが盛り込まれていて、その一翼を、例えば、公民館も担うるでしょうという位置づけが打ち出されているところになっています。この辺も少し頭の片隅に置いていただきながら、これから館より年度の報告と、それから次年度の取組み、方向性が示されますので、ご意見をいただきたいということで、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
	(1) 平成 31 年度予算の編成状況について
<p>中央 土沼管理担当</p>	<p>当日配布資料 3 により、平成 31 年度予算の編成状況について説明。</p>
	<p>(2) 平成 30 年度公民館事業実施状況（中間報告）について (3) 平成 31 年度公民館事業計画について</p>
<p>中央 友坂事業担当</p>	<p>資料 1 及び 2 により、中央公民館分の平成 30 年度事業報告及び平成 31 年度事業計画を説明。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 3 枚目

岩崎議長	<p>今の中央公民館からの報告について、ご質問、ご意見を一括して承ります。</p>
田代委員	<p>中央公民館に限らず、広く一般的なことを申し上げますと、先ほど会長からありましたように、学校教育以外はみんな社会教育ということで、投げ売りではないですが投げられて、やるほうは予算も縛られるし、学校教育で言えば先生とか教える側がきちんと体制を整えて、免許、資格があつてやるわけです。社会教育は、私の理解ですと全然そういうものではなくて、それぞれが勝手にやりなさいというように私は受け止めているわけです。</p> <p>それで、いろいろ出ていますけれども、子どもから幼児、学校教育は除くにしても、それ以外の、あと死ぬまでの間、みんな公民館の社会教育で勝手にしなさいとなっているわけです。今、いろいろ計画が出ていますけれども、全般的に言うと、幼児とか子育てに力点が置かれていると思うのです。それは将来の日本社会を背負って立つのだから大事な人材をしっかり教育していくというのはよく分かります。社会に出てそれなりの仕事なり働き方をして、あと、隠居しますと言ったら悪いけれども、定年になって辞めます。この人たちは一体どうなるのだと考えると、私はたまたま中央公民館使用団体協議会の役員をさせてもらっていて、その関係でこの委員になっているのだらうと思っておりますけれども、公民館に足を運んでくる人たちは、高齢者の場合は、大多数の中のほんの一部ではないかと。その人たちにも、やはり、社会のためにとは言わないけれども、自分のためだけではなく、少しは地域とか家庭以外の社会などにも目を向けてもらって、何か力を貸してくれないかということ、トータルとして何かできないかということは常々思っているのです。</p> <p>具体的に言えば、それぞれがサークルを作って公民館を利用してやりなさいとなるのですけれども、そのサークルも、最近、状況を見ていると、非常に減ってきています。そして、私の考えは古いのですけれども、私と物差しが合わないような考え方も、えっと言うようなことも当然起こってきておまして、大変だなと。大体聞いてみますと、例えば、中央公民館の協議会の場合は、役員のなり手がいないから、順番にやりましょうということをして七、八年前に決めたのです。それが今度はあなたの番だとサークルにお願いをするわけです。今まではみんなはいはいと言っていたのです。そのうち、いや、うちはいやだからやりませんと言うのが出てきたのです。それは確かに協議会は自主参加ですから、いやな人は仕方がないわけなので強制はできないのですが、そういうことも出てくるということは、いろいろな考え方があつて、世の中なのだからそれは仕方がないのだけれども、うーんと思わざるをえない。そういうことをどこかで一定の基準なり水準と言つてはおかしいですが、こういう土台というか、それがだんだんなくなっていくのではないかと感じて危惧しているのです。</p> <p>それで、先ほど、高齢者対象の事業という話がありましたが、どちらを優先するかではないのだけれども、そういうものも一つか二つ、何か考えてもらえ</p>

	ればと思います。
岩崎議長	関連したご発言はありますか。中央公民館、今の田代委員のご指摘はいかがですか。
中央 友坂事業担当	もちろん、以前は全くやっていなかったわけではなく、タイミングを逃して若者向けにシフトするといった方向性で、高齢者向けの事業をできなくなった現状があったのですが、確かに、今、若者事業を数年やってきて、それだけではうまくないとは思っているところです。やはり、次世代の若者向けの事業はもちろん大事なのですが、今、どんどん増え続けている高齢者に対しての何らかの手立てをしなければならないということは、職員の中でもそうですし、活動協力員だったり、そういった外からの意見もいただいているところですので、ぜひ、その辺はうまくバランスを取りながら実施できたらと思っています。
岩崎議長	もう 1 点のご指摘としては、特に、ご高齢の方が組織している団体がなかなか自立的に運営することが難しくなっているということであったり、あるいは、公民館の事業そのものにコミットすること自体もなかなか後ろ向きになっている方が増えてきています。そういった問題意識、ご指摘です。 この件に限らず、ほかにはいかがでしょうか。
西脇委員	単純な、別の質問ですけれども、クロスパルちょっと寄り道シリーズの酒と食のペアリングということでお話があったのですが、皆さんへのお知らせはどのようにしているのでしょうか。
中央 友坂事業担当	基本的には、以前、若者向け講座に参加していただいた方に呼びかけをしていますし、あと、周辺の店舗、飲食店、スーパーマーケット等、ありとあらゆる手段でチラシをまいたり、名刺サイズのチラシ的なものを作って飲食店のテーブルに置かせていただいたり、駅の自由通路にポスターを張ったり、できる限りの広報はさせていただいております。
西脇委員	とても大変なご努力をなさっていますね。
中央 友坂事業担当	やはり、若い方で SNS でつながっているとはいうものの、やはり身内のつながりでの SNS は非常に頻繁によく見られるのですが、やはり、いくら公民館が SNS をやっていますといっても、ダイレクトに公民館の SNS を見てくれるかというところではないということが多くて、なかなか現実には集まりにくいということは、今回、実感しているところです。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 5 枚目

<p>西脇委員</p>	<p>では、集まった方はかなり新潟市でも広い範囲の方だったのですか。</p>
<p>中央 友坂事業担当</p>	<p>基本的には、中央公民館の管轄内で応募しているせいもありまして、それほど遠いところからの参加はなかったように思います。</p>
<p>山田委員</p>	<p>先ほど田代委員からお話があった協議会の件でも、役員のなり手がいない、順番もいやだという、任意の団体であるだけになかなか存続、運営が難しくなっているという話は、実は、地域の自治会などでも同じような事態があつて、自治会の役員の引き受け手がいないとか、順番にすると、いやだと。しかし、引越すわけにはいかないから要請を無視するとか、いろいろなそういう問題にもつながっていて、それが最初に岩崎会長が資料を提示してくださった社会教育、公民館のあり方等にも指摘されている、まさに地域コミュニティの衰退という部分に当てはまるのではないかと。そうすると、公民館が事業の中で地域課題の解決に向けた問題解決、地域づくりにつなげていこう、人材を育てていこうという流れが、まさに地域コミュニティ活動活性化支援事業という位置づけになるのではないかと思うのです。しかし、実際、予算の制約が色濃く出されています。家庭教育の事業は、公民館としてはなかなか削れない部分があつて、その中で前年比マイナス 1.4 パーセントで、そのあおりが、仕方なく地域コミュニティの事業のマイナス 20 パーセントになってしまったのかなとは思っています。</p> <p>地域コミュニティの活性化に大きくつながるといことは、市長部局の事業とも当然関連していくわけで、お願いなのですが、ぜひ、そこで公民館の事業のあるべき姿を広く情報発信して行って、予算の減った分を、何とか他部局と連携するなり何なりで地域の人材育成という形に持っていけるような方向性で進めていただければと思います。</p>
<p>岩崎議長</p>	<p>実際、市長部局の事業としても、地域コミュニティの活性といった取組みはあると思うのですが、そことのコラボレーションは、現状どうなっていて、これからどうなるかという辺りも含めて、もし何かありましたらお願いします。</p>
<p>中央 友坂事業担当</p>	<p>市長部局との連携といいますと、地域コミュニティ活性化事業の中でコミュニティ・コーディネーター事業があります。そこが市長部局と一緒にあって、例えば、地域防災を支える、避難訓練をやってもなかなか人が集まらないというときに、では、どうやってそれをやった来意だろうというときに、公民館も一緒になって動いてくれるような人を育てていこうとか、あるいは、地域の魅力、活性化するために、観光部門だけではなく、公民館も一緒になってその人</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 6 枚目

	<p>材育成をしていこうという取組みをさせていただいているところです。</p> <p>地域活動活性化支援事業で予算が減になりましたのは、まさに市長部局のお金を使ってもいいのではないか。コミュニティ協議会がありますが、今、さまざまな事業をしているものがここにはまっているわけですが、そこと一緒に行っているのであれば、その事業を使ってもいいのではないかと指摘を受けて、予算の査定がされたところです。</p>
山田委員	<p>確かに、前から一緒にできる場所とは一緒にという。その中で、コミュニティ協議会の予算を使えるのであれば、その分減らしてもいいのではないかとするのは、今まで、単純に言えば厳しい話ですよね。今まですでにやっていたのにそれをまた減らさないというわけだから、理屈か実態かよくあれなのですけれども、ひどいねと。</p>
中央 友坂事業担当	<p>こちら当然、連携だけではなく、こちら発信しているのということも申し上げたのですけれども、いろいろ厳しくて、結果としてはこういう数字になりました。</p>
山田委員	<p>大変ですが、ご苦労さまです。</p>
岩崎議長	<p>ちなみに、そこの橋渡し、音頭を取っているのはどちらになるのですか。イニシアティブリーダー。言葉は悪いですが、ある意味、市長部局に取り込まれる形になってしまうのか、それとも、我々のほうが比較の見通しを持って、後はお金の面の問題もあるので、市長部局とうまくやっていきたいと思いますという感じなのか、その辺りはいかがですか。</p>
中央 友坂事業担当	<p>その辺は、事業一つ一つによって違うと思いますが、当然、公民館についている事業ですので、そこは公民館が主導を取っていると考えていただければと思います。</p>
西脇委員	<p>先ほど、防災訓練でも人が集まらないというご意見もありましたけれども、コミュニティ協議会から約 600 人出席がありました。自分たちの問題として。ですから、予算の多寡でなく、仕事は一緒にしていくという考え方でいいのではないのでしょうか。そのところに公民館としての役割は何かです。それこそ人の育成ということで一生懸命やっているのだということ、それが地域につながっているのだという位置づけがあれば、お金はなくても連携し、実際に地域をとらえ素晴らしい活動ができるのではないかと思います。</p>
岩崎議長	<p>ぜひ、中央公民館で取組みをお願いします。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 7 枚目

中央 友坂事業担当	我々も参考にさせていただきます。
岩崎議長	ほかにいかがでしょうか。 それでは、次の鳥屋野地区公民館に移りたいと思います。
鳥屋野地区 小栗館長	資料 1 及び 2 により、鳥屋野地区公民館分の平成 30 年度事業報告及び平成 31 年度事業計画を説明。
岩崎議長	今のご報告について、ご質問、ご意見をお願いします。 西脇委員、鳥屋野のご担当だったように記憶していますが、何かご発言はありますか。
西脇委員	私もいろいろ講座に出ていますけれども、公民館が主催している「地域学」は年々盛会です。出た人がまた友だちを誘うということで、地域の実態などもよく聞きます。また、個人的に体力作りのためヨガの会に参加しています。このサークルではメンバーが必ず責任を持つということで、名簿順に役員を担うことになっていて、なかなかいい決まりだなと思いましたが。ただ加入してすぐに名簿の順番が回ってくると、無理な場合もあるため、役員体制を見直し、役員を 2 人から 4 人にしまして、色々工夫していくと、皆さんが責任を持つようになるから、楽しみながら、いい集いの場を持たせていただいています。
岩崎議長	入会の際の条件が、役員を名簿順に引き受けるということですか。
西脇委員	入会して規約を見せてもらいましたら名簿順ですよ。これもいいなと思いましたが。けっこう皆さんそれなりに力を合わせてうまくやっています。
岩崎議長	田代委員、名簿順だそうです。
田代委員	名簿順なのですが、そのルールがもう壊れてきたのです。私はいやですと。
西脇委員	不特定多数になると大変でしょうけれども、目的を持った限られたメンバーではお互いに責任を持つ一つの方法。 それから、自治会など身近なことですけれども、ごみの清掃当番にしても、この前救急車が来たとか、非常に高齢な方だけだというお宅に当番が回ってきた場合、私などは、次の人に、あなたのところを先にやってほしい、こち

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 8 枚目

<p>岩崎議長</p>	<p>らのお宅は今は無理だけれども、次は大丈夫だからと。規則どおりではなく幅を持たせたことでやっていけば、つながっていくのではないかとも思います。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次に行きたいと思います。東地区公民館からお願いします。</p>
<p>東地区 野崎副主幹</p>	<p>資料 1 及び 2 により、東地区公民館分の平成 30 年度事業報告及び平成 31 年度事業計画を説明。</p>
<p>岩崎議長</p>	<p>ご質問、ご意見はいかがでしょうか。東地区選出の委員はいらっしゃいますか。</p>
<p>塩田委員</p>	<p>東地区選出なのですが、私も利用団体の中の一人で毎週利用しているのですが、なかなか公民館事業に参加する機会がありませんで、本当に申し訳ないと思っています。ただ、本当にいろいろな事業をしているのだなというのは、週 1 回行くときに張り紙がたくさんしてありまして、とても活発な事業をしているなということで、いつも感心しています。</p> <p>東地区公民館は駐車場がほとんどないようなところで、なかなか利用者の方にはとても使いづらい公民館だと思うのですが、それでもこれだけの実績を上げているということで、職員の動きを感じている毎日です。</p>
<p>岩崎議長</p>	<p>特に地域の学校ともつながりがあって、学校からのオーダーで事業が、名前は変わるけれども継続されているというところもありますよね。</p>
<p>東地区 野崎副主幹</p>	<p>計画の段階ではありますけれども、一般的な名前になっておりますけれども、中身的には継続事業になっていきます。塩田委員からもいろいろご尽力いただきまして、学校との連絡、あるいはパイプ役として日ごろからお世話になっております。</p>
<p>岩崎議長</p>	<p>よろしいですか。それでは、関屋地区公民館からお願いします。</p>
<p>関屋地区 小松館長</p>	<p>資料 1 及び 2 により、関屋地区公民館分の平成 30 年度事業報告及び平成 31 年度事業計画を説明。</p>
<p>岩崎議長</p>	<p>いかがでしょうか。関屋地区選出の委員はおられますか。よろしければお願いします。</p>
<p>祝委員</p>	<p>関屋地区では積極的な企画でサークル活動の成果を挙げています。例えば「お</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 9 枚目

<p>岩崎議長</p>	<p>も知ろ関屋学」という講座がありますが、郷土の関屋をよく研究していて感心してしまいます。ここには以前館長をされた方も、「面白い！」と参加しています。新潟日報の下越版にも、地域の子どもたちも参加して自分たちの郷土の歴史を案内してもらい楽しく活動する様子が掲載されました。ここに自分も参加を申し込んだのですが、たまたま自分の本来の講座とちがひ止む無く欠席、また申し込むつもりです。関屋の協議会は 86 団体が加入していますが、自分ももっと色々なサークルに顔を出してみようと思っています。</p> <p>先ほど利用団体、参加者がなかなか集まりにくいというお話がありました。少子化も影響がありますが、むしろ公民館に集まってくるのはシニア世代の方々ではないかと思えます。関屋の秋季文化祭は 30 年度も盛会で、のべ千名を超える参加者で賑わいました。とにかく自分たちが楽しく活動していれば自然と地域の住民から仲間は増えていくのではと楽観的に思っています。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それでは、平成 30 年度の間報告と平成 31 年度の計画について、一旦審議を終わりたいと思います。また後ほどありましたら、その他のところでご発言を承りたいと思います。</p> <p>続いて、(4) 公民館に若者を取り込むために（現状報告）です。前回、中央公民館長からも話題提供がありました。その後どのようなようになったのか、ご報告を承りたいと思います。</p>
<p>(4) 公民館に若者を取り込むために（現状報告）</p>	
<p>中央 友坂事業担当</p> <p>岩崎議長</p>	<p>当日配布資料 4 により、公民館に若者を取り込むために（現状報告）について説明。</p> <p>この件に関して、いかがでしょうか。</p> <p>高校にもニーズを調査に行ったということでしょうか。私は先週でしたか、岐阜県高山市に仕事で行かせていただいたのです。非常に地元と学校のつながりの濃いところなのです。例えば、何か祭りがあると、若者を出してくれと、地元の商工会や青年団が学校に直接持ち込むのです。学校側としては、それを教育課程として受けるわけにはいかないので、あくまでも課外の取組みとして、何とか志のある先生にお願いして、今まで地域に付き合っていたという感じだったのです。しかしながら、そこに公民館が介在することで、従前であれば高校の先生が、例えば、土日にそういったところに貢献する形を執っていたのだけれども、公民館の職員も絡むような形で、地域と子どもたちをつなぐという取組みをしているという話を伺いまして、なるほどと。学校の話になれば、働き方改革が叫ばれている今日でもあるので、そういった公民館の活躍の仕方もあるのだなということを読んで帰ってきたところです。</p>

(5) 2 年間を振り返って	
岩崎議長	<p>それでは、(5) 2 年間を振り返ってということで、冒頭、中央公民館長からもお話がありましたように、委員各位から一言ずつお話を賜りたいと思います。時間にも限りがありますので、お一人 1 分という辺りでまとめていただければと思います。勝手ではありますが、井上委員からずっと渡辺委員、そしてこちらにずっと帰ってきて、最後副議長、そして議長でまとめさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。お願いします。</p>
井上委員	<p>井上と申します。まず、2 年間大変お世話になったことをお礼申し上げます。公民館というと、どういった活動をしているのか、まず、単純に興味がありまして、私は申し込ませていただきました。この場に来ることで、どのような公民館活動があるのか、また、私は普段、職場が中央公民館区域なものですからこちらにお伺いすることが多いのですけれども、それ以外にも東地区、関屋地区、鳥屋野地区と、それぞれ魅力的な公民館が魅力的な活動をしていることを知ることができたことを、大変嬉しく思っています。反面、自分でここにかかわることで、どれだけ公民館活動の発展に対して寄与できたかというとはなはだ疑問ではありますが、これからも一市民として公民館活動に関心を持ちながら暮らしていきたいと思っています。</p> <p>2 年間、どうもありがとうございました。</p>
小林委員	<p>日和山小学校の小林です。</p> <p>中央公民館運営審議会委員としてどの程度お役に立てたかという問題はありませんが、今日の会議の中で、公民館がいかにかくさんの事業を立ち上げて市民のために活躍しているかということが大変よく分かりました。お話の中に出ていた、お互いさまの社会が少し薄れているのかなと感じたご意見がいくつかありました。社会全体の見方とか考え方がそうなっているのかなとそのときは思ったのですけれども、個人としては、とてもそれに対して何ができるかが思い浮かばないというか、公民館として、成果指標みたいなものを求められているというお話もありましたけれども、それだけにとらわれずに、地域をまとめていくリーダーを作るとか、人を集めてその中で楽しさを醸成していくとか、そういう場づくりを提供して、コミュニティが活動しやすい環境を作っていくという仕事を、ぜひ、今後もやっていただければありがたいと感じました。</p>
田代委員	<p>運営審議会委員として何をしたかという、何もしなかったということで、申し訳なく思っています。公民館に期待するのは、やはり地域という社会の中でだれかが旗振り役をしなければいけないのですけれども、その旗振り役の先頭で頑張っていただければと思っています。</p>

祝委員	<p>関屋公民館の祝です。</p> <p>毎年、公民館大会が開かれますけれども、あれはどちらの大会でしたか、出まして、戦後、公民館ができて、その使命は何かということで、公民館の使命が少し地域の要求からずれる傾向にあるというお話もありました。公民館活動というのは、山間とか、ああいう部落とか、新潟のような大都会ではないところでは今も極めて重要で、成果を上げていると思います。都会ではなかなか上げにくいというのは、今日の会議の中でも、まず、人が集まりにくいとか、あるいは高齢で役員をやりたがらないとかいろいろあります。今、80歳まで働く世代かもしれませんが、60代以降はある程度シニアの世代になって、65歳が最高ですけども、どんどんシニアが余暇を楽しみたい、余暇で勉強したい、生涯学習をしたいという時代ですので、若者にスポットを当てていくのと、そういう公民館活動を楽しくやって、いろいろな講座を持っている中で、それがサークル化していくということを考えていくと、昔の厳しい考え方ですとなかなかあれですけども、楽しく遊ぶというのは少し変なのですが、そういう要素をあれして、幅を持ったことを考えて取組むというようにしていく必要があるのではないかと思います。</p>
渡辺委員	<p>家庭教育審議員の渡辺です。</p> <p>最初、お話をいただいたときは、ものすごくお断りしていたのですが、しかし、実際にやらせていただいて、とてもよかったと思います。というのは、やはり、家庭教育のところでは、予算とか内容的にとっても不満がいっぱい出ていたのです。それを、ここで聞いた話を一緒にやっている人たちに現状をお伝えすることもできましたし、逆に、小さい子どもをお持ちのお母さん方の意見だったり一緒に活動している人たちの意見をここに持ってくることで、前回でしたか、予算が、保育にとってもお金がかかるというところも、現状は、実はこうでというお話を、もしいなければお伝えできなかったのですが、それをやはり直接お伝えすることができたので、役員をやらせていただいてとてもよかったなと思います。ありがとうございました。</p>
本間委員	<p>新潟市立新潟柳都中学校の本間です。</p> <p>大変勉強になりました。反省として、委員の皆様方は自分のところの公民館事業とか講座に出て、実際に体験している。しかし、私は柳都中学校区に住み中央公民館が一番近いが、事業や講座を体験したことがない。来年度は体験したい。</p> <p>この話は、PRになります。新潟柳都中学校は、統合5年目になりました。本当に地域に愛されながら、地域で学び、地域に貢献する学校ということで、様々な活動や取組を行っています。これを高めていくために岩崎議長さんからのご指導をはじめ友坂さんからは文化祭に来て地域活動の好評いただいた。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 12 枚目

	<p>今年度、教育公務員弘済会新潟支部主催である県の園・小・中・高における「特色ある教育論文のコンクール」がありました。新潟柳都中学校は、地域と学校の連携や協力についての活動や取組実践について応募をしました。たいへん光栄ですが、優秀賞を受賞し副賞もいただきました。この他に本校を含めて白山小学校、小新中学校の 3 校が優秀賞になるなど、新潟市の学校が輝きました。素晴らしい限りです。新潟柳都中学校は「地域で学び」、「地域に貢献する学校」を目指しています。来年度からは、これに加え副題として、新潟柳都中学校は、「公民館で学び」、「公民館に貢献する学校」を目指したいと、今、強く思っております。二年間、委員を務めさせていただきありがとうございました。</p>
西脇委員	<p>4つの公民館活動が、広く理解できて参考になりました。先ほど他の委員もおっしゃったように、やはり公民館は地域の核としてリーダーシップを取ってほしい。そのためには地域に積極的にかかわっていただくことが一番大事ではないかと思えます。</p> <p>それには、公民館活動のビジョンを他機関と共有し、目的を達成することが大事だと思います。資料を見ても、「活動の基本方針に沿っての基本施策」など、言葉自体がとても固い。役所の内部では良いと思うが。地域の問題点、目指す姿がはっきり感じ取れないのです。もう少し分かり易く、目標に向かって地域や対象に対してどのような手段で対応するのか、体系化して他の期間を巻き込んだ有機的な連携が大事だと思います。</p>
塩田委員	<p>初めてこの会に出させていただいて、私自身、とても勉強になったと思います。いろいろな企画力とか、事業のやり方とか、とても勉強になってありがたかったです。</p> <p>私は小学校で地域教育コーディネーターもやっております、公民館には本当に毎年大変お世話になっております。学校でいろいろな事業に来ていただくのですけれども、そのときに、公民館事業で、公民館の方にとってもご協力いただいているのですと言ってくるのですが、先日、早寝早起き朝ごはん料理講習会をやりまして、公民館の主催事業でやっているのですと最初に言って、最後に、作った料理を一緒に食べながら親御さんと話していたら、公民館ってどこという話になりました。そうか、公民館の場所すらまだ分からない人がたくさんいるのだなということに改めて気づかされました。やはり、いろいろな場所に出て公民館の宣伝をもっとしていくことも大事なのではないかと感じました。</p>
笠原委員	<p>笠原です。私も日和山小学校でやらせていただいております。</p> <p>こういうところに出させてもらうのは初めてなので、大した意見も言えずに今日まで来てしまったのですけれども、今日、改めて、公民館の職員の方の、</p>

先ほども話がありましたけれども、頭脳だったり知恵だったり、地域の方は公民館には来ていないけれども、地域それぞれでいろいろなことをしていたり、いろいろなグループでいろいろな活動をしているので、それこそ先ほど旗振り役が必要だというお話があって、私もとても納得しています。それを地域の方がやっていることを、もっとこんなやり方もありますとか、こんな講師がいますとか、何かもっと知恵を教えてくださいとあると非常にいいのかなと思いました。

あと、学校で、先ほど県立高等学校にアプローチに行かれたという話がありましたけれども、そういった形で、それこそ塩田委員のようにいろいろな人脈を持っている方にもっと入り込んで行かれれば、その人脈を持っている人がいろいろな人をまとめてくれるでしょうし、そのうえで公民館の職員の方のいろいろな知恵をそこにプラスしていくことで、もっと地域の人材を、この人はこんなことができる人だ、この人はこういうところでも活躍できるのではないかというような広がりをもっとできるのではないかと思いました。一つ、学校で言えば、学校のだれに会うかというのは非常に大事だと思うのです。一番偉い人に会うのか、それとも実質現場で人脈を持っている人に会うとか、そういったところも何か少し聞いていただきながら。私が住んでいるところは豊照地区コミュニティなのですけれども、そこにもいろいろな方がいらっしゃるので、もっとコミュニティ協議会とのつながりなどもあれば、利用される方も増えていくのかなと思います。

井部委員

新潟中央おやこ劇場の井部です。2年間、ありがとうございました。

事務所は上大川前通にあるのですが、おやこ劇場の会員は各地域にいるので、もう少し会員のいろいろな声を持ってこられればよかったかなというのが反省の一つです。公民館の事業にこれだけの方々が参加されていらっしゃるので、このような会議の場での意見も必要ではあると思いますけれども、利用者一人一人の方々も、利用するだけではなくて、その方々の声もいろいろ幅広く聞けるような、多分、アンケートという型が決まったものがあるとは思いますが、そうではない、皆さんも利用するだけではなく、何か意見を出せるような機会があれば、これだけの数の方のいろいろな声が出せるのではないかと感じました。

山田委員

山田です。2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

何をしてきたのかよく分からないというところもあるのですけれども、今年は直接公民館の事業に参加することはありませんでした。ほかの公民館に事業の見学に行ったことはあるのですけれども、もし皆様のほうでこれだと思う事業がありましたら、ここでの説明だけではなく、遠慮なく見学に来いとか、席に余裕があるから参加しろとか、そういうご案内などをいただけるとまたいい

岩崎議長

のかなと思いました。特に、本当にこれかと思う事業、これは力を入れている事業なので、ぜひ、見に来てくださいというお誘いがあれば嬉しいと思っています。

高齢者の事業が中央公民館は手薄だったのですけれども、実際、私なども考えると、仕事をしていた期間が 35 年あったのですが、仕事を辞めてから死ぬまでの期間も、平均寿命どおりで行けば恐らくそれに匹敵するくらいの期間はあるだろうと思います。そうすると、高齢者の期間はかなり長いわけです。ぜひ、高齢者と一括りにするのも何なのではすけれども、シニア向けの、ヤングシニア世代もあるわけなので、幅広くやってもらえるといいなと思いました。

2 年間、若輩ではありましたが、委員各位のお力添えをいただきまして、何とか運営審議会を回すことができました。関係各位に感謝申し上げたいと思います。

私もこの運営審議会にかかわってから中央公民館の事業にもかかわらせていただきまして、同じことを感じました。シニアの方々が参加してくださっています。しかしながら、我々講師以上にたくさんの経験がおありで、専門的な知識や技術もおありで、それを奥ゆかしくて黙っていらっしゃるのです。ところが、これは困っているのだけれども力を貸してもらえませんかとお願ひすると、その方が不足であればまたそのネットワークの中でいろいろな人をご紹介いただいたりして、活動が充実していくプロセスを体験することができました。個人的なことではあるのですが、実は、それが社会教育のあるべき姿ではないかと思っています。決められたことを肅々と教えました、テストで何点取れました、だから効果が上がったでしょうと、そういう指標の計り方ももちろんあるのかもしれないけれども、プロセスそのものに意味がある。だから、たとえ参加人数が少なからうが、もちろん多ければ多いほどいいのだけれども、少なくともそのプロセスが、実は 5 年先、10 年先にその地域を背負って立つ核となるコアな人材として育ち、何倍にも大きな効果としてその地域に持ってくることも十分ありうるわけなので、いろいろな立場が違えば数値で効果を計るとかあるかもしれないのだけれども、しかし、私たちは私たちがやらなければならない王道を自分たちができる中で肅々と進んでいく、それしか財務当局に答える術はないのかなと思いつつ、しかし、やはり見てくれも大事ですし、後方も大事ですし、ニーズを取るのも大事なので、今日いただいたご意見を、各地区館、ぜひ、来年度につなげていただいて、よりよい社会教育活動が展開していきますことを祈念したいと思っております。どうもありがとうございました。

では、その他、特にご発言はないでしょうか。

事務局から何かありますか。

では、議長を退任いたします。ありがとうございました。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
15 枚中 15 枚目

<p>中央 竹田館長補佐</p>	<p>以上をもちまして、第 30 期第 4 回中央公民館運営審議会を閉会します。委員の皆様におかれましては、2 年間にわたり、活発なご審議をいただきまして、大変ありがとうございました。</p>
----------------------	--